

甲斐市立玉幡小学校 令和3年度 学校だより 第16号



チーム玉幡

令和3年12月13日 文責：小林 正彦

12月となり、朝晩の寒さがとても厳しく感じるようになりました。朝の旗振りに立っていると、子どもたちの声も凍えているように感じる時があります。そんな時は、私がいつも以上に大きな声を出すように心がけています。先週はお腹をこわしてしまう子どもたちが多いようでした。あたたかい服装等、体調管理へのご配慮をお願いいたします。特に、コロナ禍における教室では、冬季でも換気を行いながらの授業を実施しています。暖房設備も併用していますが、服装へのご協力をよろしくお願いたします。



個別懇談、ありがとうございました

11月29日(月)から12月2日(木)まで4日間の個別懇談がありました。個別懇談の目的は、保護者の皆様との面談を通して、学校における生活や学習での児童の成長や課題を共有したり、家庭での生活や家庭学習等の様子についてうかがったりして、担任と保護者の皆様方との共通理解を深めることにあります。

今回の懇談内容につきましては、今後の児童理解や指導に生かしていきたいと思えます。ご家庭でも、お子さんの良い点は褒め、課題についてどのように向き合っていくか、いっしょに話し合ってみてください。お家の方々の一言が、子どもたちのより良い成長において、一番の特効薬になります。よろしくお願いたします。

個別懇談は終わりましたが、今後も何かありましたら、気軽にお声をかけてください。お忙しい中お時間の都合をつけていただき、ありがとうございました。ご協力に感謝申し上げます。

中学生といっしょに 取り組んだ、あいさつ運動

先週の12月8日(水)から10日(金)の3日間、中学生が玉幡小学校に来て、朝のあいさつ運動をいっしょに取り組んでくれました。中学生は全員本校の卒業生ということでした。中学生のお兄さんお姉さんがあいさつすると、いつもより元気なあいさつが返ってきていたような気がします。

あいさつ運動の終わりには、中学生と小学生の反省会が行われ、地域として同じ気持ちであいさつ運動に取り組んでいく意識が高まったと思います。



確かな小中連携を目指して

中学生とのあいさつ運動は、「小中連携事業」

の一環として行われました。「小中連携事業」とは、小中学校9年間を見通した一貫性のある学習指導、生徒指導について研究・実践する中で、子どもたちの豊かな育ちを支える望ましい小中連携の在り方について考え、その成果を他校に普及させることを目的としています。玉幡中学校区にある竜王西小学校と玉幡小学校、そして玉幡中学校は、この小中連携事業の指定を、山梨県及び甲斐市から受けています。研究は昨年度から今年度までの2年間続けられています。この研究を通して、中1ギャップと呼ばれる小学校から中学校への様々な変化による不適応が起こらないように、今後も小中の連携を深めていきたいと思えます。

昨年度は、職員の交流を中心に研究会を開き、学習指導方法の共有や、生徒指導上の課題解決に向け、情報を共有してきました。今年度は児童生徒の交流も取り入れ、中学生の出前授業(中学校生活の紹介)や、6年生の陸上記録会へ向けての陸上指導をしてくれました。



玉幡小学校では、コミュニケーション力を高めるための手立てとして、「話型」を用いての発言や話し合いについて、研究してきました。今年度も校内研究として、4年1組と6年2組で授業研究を行いました。授業後の研究会では意見が活発に交わされ、先生方の熱意が伝わってきました。学校長としてとても有り難いと思えました。先生方のこの熱意は、子どもたちのより良い成長に必ず結びつくと、



確信しています。

今後は、中学校の先生方が6年生に授業をする予定です。また、来年の1月24日(月)には、甲斐市内の先生方に向けて、公開研究発表会を開く予定です。その時には、竜王西小学校と玉幡小学校の職員も全員参加になるので、下校時刻が多少早まると思います。下校時刻予定表にてご確認ください。ご協力をよろしくお願いいたします。

3年生 やはたいも収穫

12月2日(木)、春に植えた地域の特産品「やはたいも」の収穫を3年生が行いました。天候にも恵まれ、子どもたちは意欲的に活動していました。

前にもご紹介した地域の坂本様のご指導の下、イモに傷をつけないように、慎重に作業を進めました。太い茎の下、土の中からは、見事な「やはたいも」がたくさん。いも掘りをしているときの子どもたちの顔は、笑顔でいっぱいでした。



収穫した「やはたいも」は、給食の材料として全校みんなに食べてもらう予定です。今回の収穫を機会に、お家でいっしょに八幡芋の調理をするのもいいかもしれませんね。きっと子どもたちは喜ぶと思います。お時間がありましたら、よろしくお願いいたします。

